

第1回検討委員会：平成25年8月7日

議題

1. 神宮橋に関するこれまでの経緯
2. 現地における損傷状況の把握
3. 当面の供用安全性確保案について
4. 今後の調査・検討について

議事概要

1. 神宮橋に関するこれまでの経緯
 - ・ 神宮橋建設時から現在に至るまでの点検及び改修工事の状況等について説明。
2. 現地における損傷状況の把握
 - ・ 橋脚のひびわれ及び変状等の損傷状況を説明
3. 当面の供用安全性確保案について
 - ・ 地震発生等の緊急時の体制・対応について説明
 - ・ 常時モニタリングによる監視体制について説明
4. 今後の調査・検討について
 - ・ ひびわれのモニタリング計画について説明
 - ・ 橋脚の変状の測定計画の説明
 - ・ 地質調査計画の説明
5. 主な意見
 - ・ ひびわれは、過去からの経緯及び最近の進展状況を推定し、それらを踏まえて、構造への影響を評価する必要がある。
 - ・ 橋脚はひびわれのみならず、変位・変形についても確認する必要がある。
 - ・ 橋脚は当初設計から推定される性能と現況の対比を行い今後の挙動の推定に反映させるべきである。
 - ・ ひびわれの進展、橋脚の変状及び地質等の調査を早期に実施し、その結果を基に、現在の橋脚の状態をモデル化し、耐震性能を検証すること。
 - ・ 大きな地震動によって変状はさらに進展・拡大することが予想され、耐震性能の評価では、部材の破壊性状など震後の状態を具体的に踏まえて行う必要がある。